

Q.

電中研って どんな研究所？

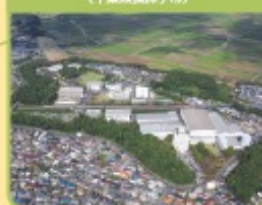
A.

電力中央研究所は、1951年（昭和26年）に「電力の鬼」と呼ばれた松永安左エ門によって日本の電気事業に関わる総合的な研究機関として創設されました。現在は「サステナブルなエネルギーで支える安全で豊かな社会」を2050年に日本がほしい姿として、その実現に向けて研究を推進しています。

塩原実験場
(栃木県那須塩原市)



我孫子地区
(千葉県我孫子市)



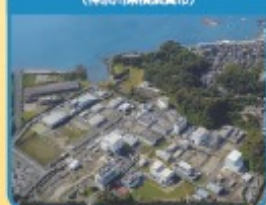
・サステナブルシステム研究本部

大手町地区
(東京都千代田区)



・本部
・社会経済研究所
・原子力リスク研究センター

横須賀地区
(神奈川県横浜市長崎市)

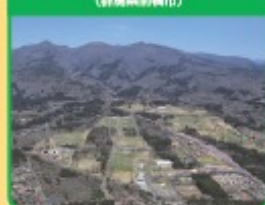


・エネルギー変換・エネルギー貯蔵研究本部
・グリッドインノベーション研究本部

柏江地区
(東京都柏江市)



赤城試験センター
(群馬県前橋市)



専門分野別人員構成



横須賀地区に2研究本部、我孫子地区に1研究本部を設置し、大手町地区の社会経済研究所、原子力リスク研究センターを加えた研究体制で電気事業が直面する課題に取り組んでいます。そして2050年に日本がほしい姿を実現するために、レジリエントなエネルギーシステムの実現、再生可能エネルギーの導入拡大、広域連系システムの強化と安定運用などを目標に掲げて研究成果を創出し、社会実装に繋げていきます。

